

プラント状況確認結果(平成26年12月9日～12月16日)

平成26年 12月 16日
福島県原子力安全対策課

- 平成26年12月9日～12月16日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ 1号機において、平成26年10月22日に開始した原子炉建屋カバーの解体に向けた作業(飛散防止剤散布、ガレキ調査等)は平成26年12月5日に終了しました。今後は、平成27年3月頃から作業を再開する予定です。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

(1) プラント状況(12月16日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.6	4.3	4.5	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<u>19.6</u>	<u>25.8</u>	<u>24.3</u>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	9.72×10 ⁻⁴	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.08	0.07	0.08	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	12.0	26.7	20.7	8.3

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(12月16日午前10時)

最小 1.123(MP-6)～最大 3.863(MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(12月15日採取分)

最小 検出限界未満(6号機取水口前、港湾口)～最大 33(4号機スクリーン) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(12月15日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 0.76 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は0.60 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(12月15日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(12月15日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機)～最大 0.23(2号機) Bq/cm³

(問い合わせ 024-521-1917)